



縮尺 1 : 4,000
0 100 200m

2 清正湯



この震災避難行動マップは、大規模地震が発生した場合を想定して、中村学区のみなさんが、お住まいの地域の危険箇所や避難経路などについて話し合い、作成したものです。
この震災避難行動マップをもとに、“いざ”という時どんな行動をとればよいのか日頃から考えておきましょう。

中村学区周辺の指定避難所

名称
中村生涯学習センター（豊臣学区）
日吉コミュニティセンター（日吉学区）
日吉小学校（日吉学区）
千成コミュニティセンター（千成学区）

指定避難所一覧

番号	名称
1	中村小学校
2	中村スポーツセンター
3	中村コミュニティセンター
4	名古屋競輪場

6 住宅型有料老人ホーム
なかむらの森



地域防災協力事業所一覧

番号	名称
1	株式会社平安閣 平安会館中村斎場 敷地の提供
2	清正湯 入浴、生活用水の提供
3	(有)寿湯 入浴、生活用水の提供
4	有限会社大須自動車 資器材（パール、ジャッキ）の提供
5	名身連福祉センター 1階食堂を臨時避難場所として提供 救護用資器材（車椅子、消火器）の提供
6	住宅型有料老人ホーム なかむらの森 屋内スペースを一時避難所として提供 余剰となった飲料水の提供
7	ユニー株式会社 ビアゴ中村店 敷地の提供
8	新大門商店街振興組合 AEDの提供

役に立つもの

1. コンビニエンスストアなど



このステッカーが貼ってある店舗は、「災害時帰宅支援ステーション」として、公共交通機関が不通となったとき、徒歩で帰宅しようとする人たちを支援します。

2. 地域防災協力事業所

災害時に地域に対して支援協力してくれる事業所です。

3. 公衆電話

NTT が設置する公衆電話は、災害時には優先的につながり、状況に応じて無料になります。ただし、国際電話は使えません。

4. 災害救援自動販売機

対象となる自動販売機には、停電時でも飲料提供ができることが説明された看板がついています。

5. 下水道直結式仮設トイレ

マンホールに直結できる仮設トイレです。避難所のトイレ不足を補います。



このマンホールが目印です。

5 名身連福祉センター



1 株式会社平安閣
平安会館中村斎場



凡 例

	指定避難所		地域防災協力事業所
	広域避難場所		防災倉庫
	一時集合場所		AED
	避難経路		街頭消火器
	地下式給水栓		町内会設置消火器
	下水道直結式仮設トイレ		学区界
	仮設給水栓		狭い道

3 (有)寿湯



4 有限会社大須自動車



中村区中村学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、震度6強の揺れが想定されます。まずは身を守りましょう。このときに怪我をしないよう、日頃から家具の転倒防止対策に努めましょう。

古い木造家屋が密集している箇所では倒壊する建物が道を塞ぎ、火災によって強い熱風が吹き荒れます。さらに液状化現象が起きる可能性も高く、建物が傾いたり、泥水が溢れ出したりして通行が困難になります。避難先まで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

地震発生！震災時の対応

揺れた

●身の安全の確保

- ・頭を守り揺れがおさまるまで待つ
- ・安全に消せる場合は火を消す
- ・家具や家電の転倒や落下、ガラスの破片などに注意



安全にすばい避難行動をとるためにも、自宅の耐震化や家具の転倒防止対策を日頃からしっかり進めておきましょう。

丈夫な机がない時は、クッション、かばん、鍋など身近にあるもので頭を守りましょう。

揺れがおさまった

- 怪我をしないように靴やスリッパをはく
- 家族の安否・家屋の被害状況の確認
- 出入り口の確保
- テレビ・ラジオやスマートフォンなどからの正しい情報の入手
- 非常持ち出し品の準備
- 火の元の確認、火がでたら初期消火

地域には、町内会・自治会単位に結成された自主防災組織があり、災害時に初期消火・救出救護等の活動を行います。地域の被害を小さくするため、自主防災組織の活動にご協力をお願いします。

家屋倒壊・火災の危険あり

危険なし

一時避難場所等・指定避難所へ

●避難先へ安全に避難するための6つのポイント

- ① ガス・水道の元栓を閉め、ブレーカーを落とす！
- ② 近所への声かけ！
- ③ 要支援者の避難誘導を！
- ④ 原則徒歩で！
- ⑤ 木造住宅密集地域、がけ地や川の近くは避けて！
- ⑥ 二次災害に気をつけながら消火・人命救助の手伝いを！

災害の危険解消

自宅での滞在が可能か ○自宅へ ×指定避難所へ

●自宅に住めるなら、自宅で避難生活を！

指定避難所は、不特定多数の方が避難生活を送るため、環境の変化とともに大きな負担がかかることが想定されます。火災や家屋倒壊などの危険がない場合は、自宅で避難生活を続ける“在宅避難”を考えましょう。

一人で逃げるのが難しい方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、下記のような高齢者や障害のある方などの避難行動を早めました。一人で逃げるのが難しい方について「どこに住んでいるか」、「どのように安否確認するか」、「どのように避難誘導するか」などを地域で事前に話し合っておくなどして、地域のみなさんでいち早く避難行動がとれるよう協力しましょう。

情報の入手や判断が難しい方

●例えばこんな方

目の見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障害のある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など

●対応方法



優しい言葉で
ゆっくり声かけ



メモや、身振り
手振りで伝える

移動が難しい方

●例えばこんな方

普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦など

●対応方法



複数で手伝う



身近にあるものを利用する

避難の時の豆知識

ふだんから非常持ち出し袋を準備しておきましょう！

水や食料等を用意しておきましょう

- ☐ 保存がきく食品(自分が食べやすいもの)
- ☐ 常備薬(持病の薬を含む)
- ☐ 飲料水(ペットボトル)

1人1日3リットルが目安です。また、水分の多い食品(ゼリーなど)と組み合わせることで量を減らすことができます。

7日分
程度
用意しましょう

内3日分
程度は
非常持ち出し品へ

非常持ち出し品 避難するときに持っていくもの

■防災用品

- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ ヘルメット・防災ずきん
- ☐ 軍手
- ☐ マスク
- ☐ 笛

■貴重品

- ☐ 現金(小銭も必要)
- ☐ 預(貯)金通帳の写し
- ☐ 健康保険証・免許証の写し
- ☐ カード類
- ☐ 認印・印鑑

■照明など

- ☐ 懐中電灯(電池含む)
- ☐ マッチ・ライター

■医療用品

- ☐ 三角さん
- ☐ 包帯・ガーゼ
- ☐ ばんそうこう
- ☐ 消毒薬
- ☐ ウェットティッシュ(ティッシュ)
- ☐ お薬手帳の写し

■食器類

- ☐ はし・スプーン
- ☐ 紙皿・紙コップ

■便利用品

- ☐ 筆記用具
- ☐ 新聞紙
- ☐ 携帯用トイレ
- ☐ ゴミ袋
- ☐ キッチン用ラップ
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 雨具
- ☐ 手動携帯充電器

■衣料品

- ☐ 衣料(着替え)
- ☐ タオル(大小2種類)

■その他 (個人的に必要なもの)

- ☐ 粉ミルク
- ☐ 紙おむつ
- ☐ 生理用品
- ☐ 予備のメガネ・補聴器など
- ☐ パソコン

学区からのメッセージ

- 非常持ち出し袋の保管場所や安否確認の方法などをあらかじめ家族で話し合っておきましょう。
- 名古屋市の耐震化支援制度を利用して、家の耐震化を図りましょう。